

--

法人名	群馬大学	カテゴリー	学生支援
事業番号	A17-1	事業名	(桐生)総合情報メディアセンター(工学分館)改修
構造・階数・面積	R4 1,490㎡ R2 (2,480)㎡	工事区分	新営+環境対策、機能改善+耐震補強+環境対策

事業概要

老朽化した狭隘な図書館工学分館を、改修を機に、離れた場所にある情報基盤部門（旧情報処理センター桐生分室）と融合させ、図書と電子メディアの両方を快適に利用できる、「総合情報メディアセンター工学分館」とする。このため図書館の既存棟改修 2,480㎡、及び一部増築 1,490㎡を行なう。桐生キャンパスの学生一人あたり図書館等の面積は 1.07 平方 m/人から 1.47 平方 m/人に改善する。荒牧キャンパスは 2.36 平方メートル/人である。改修の基本方針は次の通りである。

- (1) 図書と電子メディアを、快適に総合的に利用できる環境を整備し、教育研究の情報基盤を強化する。
- (2) 学生個人や学生グループの、課題探求・問題解決・問題発見等への自主的な取り組みを支援する。
- (3) 先進的な ICT 教育を推進する。
- (4) 多様な利用者や技術の進歩に柔軟に対応する。

① 教育研究等の実績

(1) 本事業で整備した施設を利用しようとする組織が現在行っている教育研究等の概要

【施設を利用する組織・人数：工学部・工学研究科学生及び教員・3,100 名程度】

図書館と情報基盤部門はそれぞれ、本学の情報基盤を強化してきた。図書館は、教員・学生、および一般市民に、図書資料の貸し出し、閲覧室の利用、他図書館所有の資料取り寄せなどのサービスを提供している。また、情報リテラシー教育の講習会も積極的に開催している。情報基盤部門は、教育研究の基盤である学内 LAN ならびに基幹システムの管理運用に加え、情報処理教育、コンピュータを利用した学習、情報機器・ネットワークに関する技術的サポートなどのサービスを提供している。

(2) 具体的な実績等（2010年度）

蔵書冊数：189,142 冊	所蔵雑誌タイトル数：3,646 タイトル
開館日数（開館時間）：271 日(3,084 時間)	図書館入館者数（学外者）159,637 人(4,350 人)
図書貸出冊数（学外者）：33,759 冊(485 冊)	情報リテラシー教育実績：331 名
演習室端末ログインユーザー数：40,613 人	演習室での講義時間：545 時間

②本事業により見込まれる教育研究等への効果

前述の基本方針を具現化することにより、次のように教育研究等への多大な波及効果を見込める。

- (1) 図書と電子メディアを総合的に利用できる環境を整備することにより、多様な学術資料の効率的な収集・閲覧・整理が可能となる。また、集密書架により図書の探索が効率化するとともに、大量の図書を提供できる。これらにより、教育と学習と研究が活性化し、各種のメディアを総合的に利用できる優れた技術者が輩出する。図書の電子化や電子図書の貸出等の新たなメディアサービスも可能となり、教育と学習と研究を新しい時代に即したものに進化させる。
- (2) リフレッシュラザ、ラーニングcommons、学習室、サイレントスペースなど、多様な空間を整備することにより、多人数での討論、少人数でのグループ学習、静かに個人学習など、利用者の多様なニーズに対応し、誰にとっても長時間の滞在に適した環境となる。これらにより、学生は新施設を継続的に頻りに利用し、さまざまな学習にとりくむようになる。意欲的で活力に満ち、さらにコミュニケーション能力にすぐれた技術者が輩出する。新施設の利用が増大する。
- (3) ICT 演習室、ラーニングcommons、多目的ホールなど最新の PC を備えた多様な部屋を整備することにより、多様かつ先進的な教育や学習や研究が発展する。大規模の ICT 演習室を整備することにより、PC やインターネットを活用する新しい授業の増加に対応する。
- (4) 増築部分を活用し通路やホールを広くとることにより、車椅子の利用や防災に対応し、安全で快適な施設となる。図書館司書と情報基盤部門スタッフの連携が強化し、本学および地域への各種サービスが充実し、安全で快適で先進的な地域の学術情報拠点が形成される。